

平成 25 年 度

事業報告書（案）

平成25年 4 月 1日から

平成26年 3 月31日まで

公益財団法人 科学技術広報財団

平成25年度事業報告

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下「財団」という）は、広く社会に対する科学技術の広報啓発と科学技術振興への寄与という使命及び社会的意義を認識し、その目的を達すべく中長期的な視野で事業を展開している。

平成25年度事業は、公益財団法人として初めての通期での事業年度であり、引き続き各種規定の整備などの業務を進めるとともに、科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進、科学技術に関する情報発信、科学知識普及、人材育成、広範な科学技術に関心と理解を深める広報活動に関する事業等を実施した。

平成25年度に実施した事業は以下の通りである。

I. 全体運営

(1) 理事会の開催

・平成25年6月7日（金） 第3回理事会

- ① 平成24年度事業報告書及び平成24年度決算報告書を承認した。
- ② 第1回評議員会の招集について承認した。
- ③ 理事長及び常務理事より職務執行状況を報告した。

・平成26年3月6日（木） 第4回理事会

- ① 平成26年度事業計画書及び平成26年度収支予算書を承認した。
- ② 理事長及び常務理事より職務執行状況を報告した。

(2) 評議員会の開催

・平成25年6月25日（火） 第1回評議員会

議事録署名人選出、平成24年度事業報告書及び平成24年度決算報告書、評議員1名の退任・選任を承認した。

(3) 役員・評議員及び職員の状況

① 役員・評議員及び職員の現状（平成26年3月31日現在）

役職	定数（人）	現員（人）
理事長	1人	1人
専務理事	1人	0人
常務理事	2人以内	1人
理事	5人以上12人以内	11人（非常勤9人・常勤2人） （うち、理事長1名及び常務理事1名）
監事	3人以内	2人

②評議員の現状（平成26年3月31日現在）

定数	現員（人）
5人以上12人以内	10人

③職員の現状（平成26年3月31日現在）

区分	職員数（人）
事務局	3人
新潟県立自然科学館 管理事業本部	7人
計	10人

④役員の異動

なし

⑤評議員の異動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
平成 25 年 6 月 30 日	滝沢 博	平成 25 年 7 月 1 日	小島 一彦
平成 25 年 9 月 30 日	高橋 光政		

（4）広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページを通じた財団広報活動の活性化を図った。

（5）その他

財団の新規事業企画及び推進のため、外部の専門家からなる企画委員会を設置し、会議を開催した。

II. 事業

1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

（1）科学ポスターの企画・作成及び提供

最新の科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として、科学ポスターの改訂（元素周期表及び宇宙図）を実施し頒布を開始した。

事業の収益構造を見直し、継続的發展を図るため販売料金の改定を実施した。

広く一般に認知・提供が可能となるようAmazonへの出店を継続して行った。

また、継続して書店、科学館などの販売委託機関の拡大に努めた。

- ① 売上件数 : 2,676件
- ② 売上総枚数 : 35,155枚
- ③ 取扱店舗数 : 科学館・博物館ミュージアムショップ : 12店舗、書店 : 10店舗、
大学生協 : 16店舗、Amazon、計39店舗 (平成26年3月31日現在)

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

2-1. 科学館の運営及び運営支援

- (1) 新潟県立自然科学館の指定管理者(民間事業者との共同事業)として、常設展示の運用、一部展示の更新、特別展・実験教室の開催など、引き続き質の高い運営を実施した。
来館者実績 : 253,523人
- (2) 横浜こども科学館に対する運営協力として、展示運営及び教育普及活動の企画支援を実施した。
- (3) 神戸市立青少年科学館の指定管理者(民間事業者との共同事業)に応募し、選定された。
期間は平成26年4月1日～平成30年3月31日の4年間。

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

- (1) ドラえもんの科学みらい展
実行委員会(財団ほか民間企業4社の共同事業)方式による企画・制作で、平成22年6月より3年間の限定で実施した巡回展示が平成25年10月に終了した。
- (2) 展示コンテンツの開発
公益財団法人日本財団の平成25年度助成事業として採択された企画「海底二万里の世界展」を新潟県立自然科学館で実施した。
- (3) 展示・映像コンテンツの提供
 - ① 「サイエンスクエスト」が山口県立博物館で実施された。
引き続きプロモートを推進し、今夏の青森県立三沢航空科学館(7/19～8/24)の実施が決定した。
 - ② 「海底二万里の世界展」のプロモートを推進し、愛媛県立総合科学博物館(4/19～6/22)及びアクアワールド茨城県立大洗水族館(7/19～9/15)での実施が決定した。
 - ③ プラネタリウム映像「アイスワンダーランド」のプロモートを推進した。

3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

(1) 科学技術関連団体の広報活動支援

日本科学オリンピック推進委員会が開催する各種国際科学オリンピックの情報及び地学の日本委員会事務局への支援業務を継続して実施した。

(2) 団体・企業の広報活動支援（収益事業）

団体・企業からの依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報活動への支援を実施した。

4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) ロボット研究開発技術のアーカイブ化

多数のロボット研究に携わってきた研究者が退職の時期を迎え、その研究の膨大な成果は研究者の退職（研究室の閉鎖）と共に散逸してしまう恐れがあり、これまで蓄積されてきた知見・技術のアーカイブ化を実施した。（2件）

以上